

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 21-076	
研究課題名	小児期発症 T3 優位型バセドウ病の臨床的特徴の検討
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	T3 優位型バセドウ病は十分な抗甲状腺薬の使用で T4 が正常にコントロールされているにもかかわらず T3 高値が持続し、TRAb 強陽性、甲状腺腫大、抗甲状腺薬による治療への抵抗性などを示す管理困難な一群である。一般的に小児期発症バセドウ病は抗甲状腺薬による治療に抵抗性を示すことが多く治療困難な場合が多いという特徴を有し、T3 優位型バセドウ病と類似するが、小児期発症 T3 優位型バセドウ病にかんする報告は非常に限られている。本研究では、小児期発症 T3 優位型バセドウ病の頻度や臨床像を明らかにすることを目的とする。 共同研究機関への情報提供は、患者情報を匿名化して行う。
利用または提供する情報の項目	性別、生年月、併存疾患、現病歴、血液検査結果(甲状腺機能など)、処方内容
対象者及び対象期間	2004 年 4 月から 2020 年 3 月の期間に診断された 15 歳以下のバセドウ病のうち、初診時から 24 か月以上定期的に観察されている者。
利用の範囲	新潟市民病院 新潟大学小児科 魚沼基幹病院
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 小児科 阿部裕樹 共同研究機関 新潟大学小児科 長崎啓祐 魚沼基幹病院小児科 鈴木博
問い合わせ先	新潟市民病院 025-281-5151
共同臨床研究機関	新潟大学小児科 魚沼基幹病院
備考	